

平成 24 年 3 月長門市議会定例会一般質問通告一覧表

NO	氏名及び質問方法	件 名 (要 旨)	答弁者
平成 24 年 2 月 29 日(水)			
1	先野 正宏	<p>1 介護支援ボランティア制度の導入について 平成 19 年 5 月から、各自治体で介護に関わるボランティア活動を行った高齢者に対し、実績に応じて換金可能なポイントを付与する介護支援ボランティア制度の導入が可能になった。 保険料の負担軽減や介護予防にも効果があるこの制度の導入について、どのように考えているのか尋ねる。</p> <p>2 拡大教科書やマルチメディアデジター版教科書の普及促進について 平成 20 年 9 月 17 日施行の「教科用特定図書普及促進法（教科書バリアフリー法）」と「著作権法」の改正により、発達障害や視覚障害等の児童・生徒のための「拡大教科書」や、「マルチメディアデジター版教科書」製作が可能になった。 特別支援学校の現場や保護者の間でも大きな効果があることが認められているが、普及促進についてどのように考えているのか尋ねる。</p> <p>3 観光振興施策の充実について 金子みすゞ記念館や、くじら資料館等市内の観光関連施設に係る年末年始の開館について尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>
2	阿波 昌子	<p>1 選挙の投票率向上について 昨年末に実施された県議選、市長選において、投票率が低かったが、どのように総括されているのか。また、今後の選挙において投票率を向上させるための対策を尋ねる。</p>	市長 選挙管理委員長
3	大草 博輝	<p>1 農産物等直売施設の実証実験店舗について 農産物等直売施設の実証実験店舗が開設されたが、現時点での評価を問う。</p> <p>2 公民館のあり方について 総合計画の後期基本計画では、公民館に対し、平成 28 年度までに指定管理者制度を導入することとしているが、どのように取り組むのかを問う。</p>	<p>市長 部課長</p> <p>教育長 部課長</p>
4	田村 哲郎	<p>1 市長任期 4 年の市政運営について 市長は就任時の所信表明で「「チームながと」を構築し、全国に誇れるまちづくり」を標榜され、それを実現するための 6 大重点政策を打ち出されたが、人口減少、少子・高齢化、過疎化進行、地域経済低迷、市の財政難等の難題の下にある「地域再生」は 1～2 年の短期的な事業実施によって実現することは困難であり、じっくりと腰を据え、しっかりとした長期的戦略的方針・目的の下に行う必要がある。 そこで、市長 1 期目の初の予算編成にあたり、市長の地域再生に向けた平成 24 年度当初予算へのご自身の評価、今後の戦略的課題・具体的課題、特に防災、産業振興、行財政改革等を中心に尋ねる。</p>	市長 部課長

5	三輪 徹	1 「チームながと」の構築について 「チームながと」を構築し、市民、行政が一体となるために、市民との信頼関係をどのように築いていかれるのか伺う。	市長
		2 災害に強いまちづくりについて 東日本大震災の教訓を生かし、防災訓練は今後どのように変わるのか伺う。	市長
		3 教育行政について (1) 平成 24 年度施政方針から、コミュニティスクールの文字が消えたが、「地域協育ネット事業」がこれに代わるものなのか伺う。 (2) 被災地の児童生徒に対し、教育委員会として支援を行う計画はあるのか伺う。	教育長
NO	氏名及び質問方法	件 名 (要 旨)	答弁者
平成 24 年 3 月 2 日(金)			
6	岡崎 巧	1 施政方針について (1) 「安心して暮らせる住みよいまちづくり」について、重点課題と対策を問う。 (2) 「産業振興による活力あるまちづくり」について、重点課題と対策を問う。 (3) 「行財政改革の推進」について、重点課題と対策を問う。	市長
		1 市民生活における地域間格差について 上下水道事業について、居住地が事業区域内と事業区域外の住民の間で管理負担（年間使用料、維持管理費用等）に格差が生じている。 一方で事業会計には、一般会計から多額の繰入金が入り、事業運営されており、不公平感が生じているが、今後この問題をどう捉え是正していくのか。	市長
		1 風力発電の設置について 地区内の反対者、賛成者の意向をまとめるという考えのようであるが、どのようにされるのか。 また、他地区の視察調査をされているが、その調査結果と、風力発電の設置を検討するにあたり景観保護の考え方について尋ねる。	市長 部課長
9	大下 和政	1 第一次産業の振興について 少子高齢化が進む中で、本市の主要な産業である第一次産業の振興は、交流人口増による活性化を図らないと衰退するばかりである。 については、交流人口増の方策をどのように考えているか尋ねる。	市長
10	武田 新二	1 災害に強いまちづくりについて 老朽化した空き家については個人の財産の問題もあるので、市として手が出せない状態である。 しかし、これをそのまま放置しておくことは、台風等の強風などにより近隣住民に被害が及ぶことが考えられる。これまでの市の対応を尋ねる。	市長 部課長
		2 観光施策について 24 年度の施政方針の中で 23 年度募集した「やさしさブラッシュアップ事業」など提案型事業については、引き続き取り組むとともに、新たな提案型事業の募集も行うとしている。 確かに 23 年度はいろいろな観光事業を行っているが、その成果と反省点を尋ねる。	市長 部課長

NO	氏名及び質問方法	件 名 (要 旨)	答弁者
平成 24 年 3 月 5 日(月)			
11	林 哲也	<p>1 行財政改革について</p> <p>市長は就任直後の所信表明や今議会の施政方針において「行財政改革の推進」を掲げられている。行財政改革は、最少の経費で最大の効果を挙げ、市民が求める公共サービスを最良の形で提供していくために必要不可欠な取り組みである。</p> <p>市長としての職責を果たしていくためにも、行財政改革を本市の緊急かつ最重要課題として位置づけ、市民本位の市政の実現に向けて、不退転の決意で取り組んでいかなければならないと思う。</p> <p>行政の「効率的運営」と「住民サービスの充実」を両立させてこそ本当の行財政改革と考えるが、市長の基本的な考えを問う。</p>	市長
12	山根 勇治	<p>1 地域活性化施策について</p> <p>市長は、施政方針の中で、農林水産業、製造業、観光業などの基幹産業をはじめとする地域経済が低迷している現状を認識されたうえで、24年度予算編成において最も重視した課題が「雇用の場の創出」とされているが、具体的にはどのような施策を考えているのか尋ねる。</p> <p>また、任期中の4年間を通して地域活性化に向けた目標は何かを尋ねる。</p> <p>2 郷土の歴史・文化・人物等の活用について</p> <p>(1) 合併後8年目に入るが、旧1市3町の郷土の歴史・文化・人物等が市民に十分周知されているのか。また、偉業を残された人物の功績はどのように教育に生かされているのかを尋ねる。</p> <p>(2) 郷土の歴史・文化・人物等を観光資源としてどのように活かされているのかを尋ねる。</p>	市長 部課長 市長 教育長 部課長